

【課題】 授業中に説明したような箱ひげ図を、Excel の棒グラフの描画機能を使って描いてみよう。

📖 手順

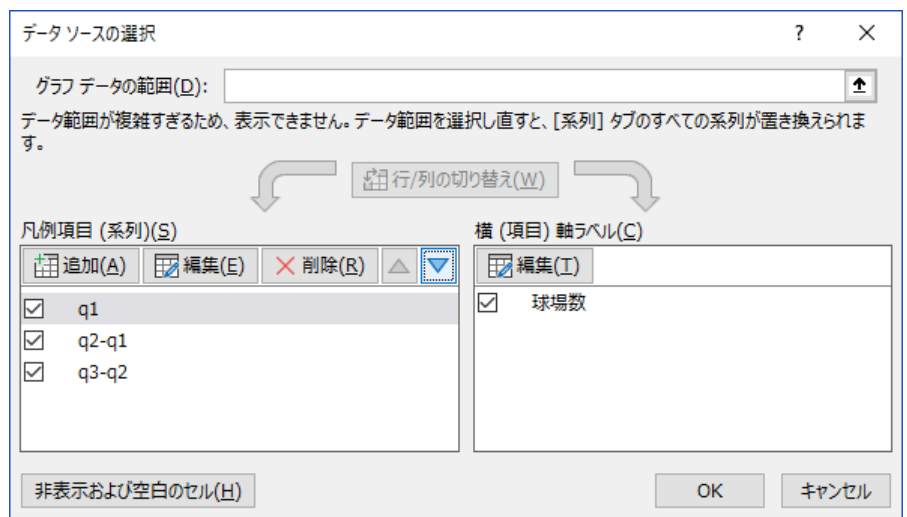
- ① 37:H42に箱ひげ図を描くためのデータを準備する。必要なものは右の表のようなものであり、H38:H42 セルのような計算をしておこう。

	G	H
37	グラフ用データ	
38	最大値-q3	=H28-H29
39	q3-q2	=H29-H30
40	q2-q1	=H30-H31
41	q1	=H31
42	q1-最小値	=H31-H32

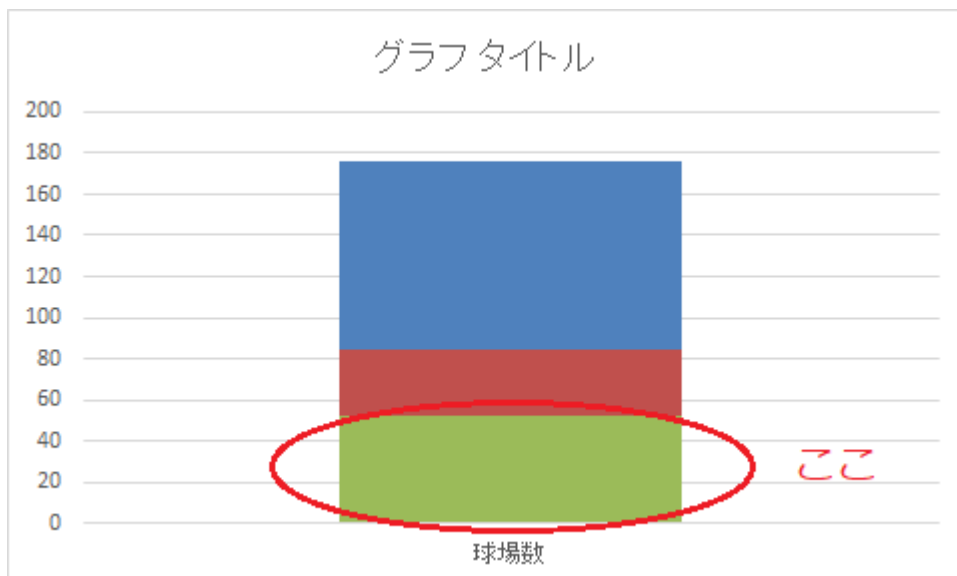
- ② G39:H41 を範囲指定し、メニューの「挿入」－「縦棒/横棒グラフ」を選び、2D縦棒の真ん中の積み上げ縦棒グラフを選択する。この時点では3本の棒グラフになっているので、「行/列の入れ替え」ボタンを押して、行と列を入れ替えると、積み上げ棒グラフの形になる。



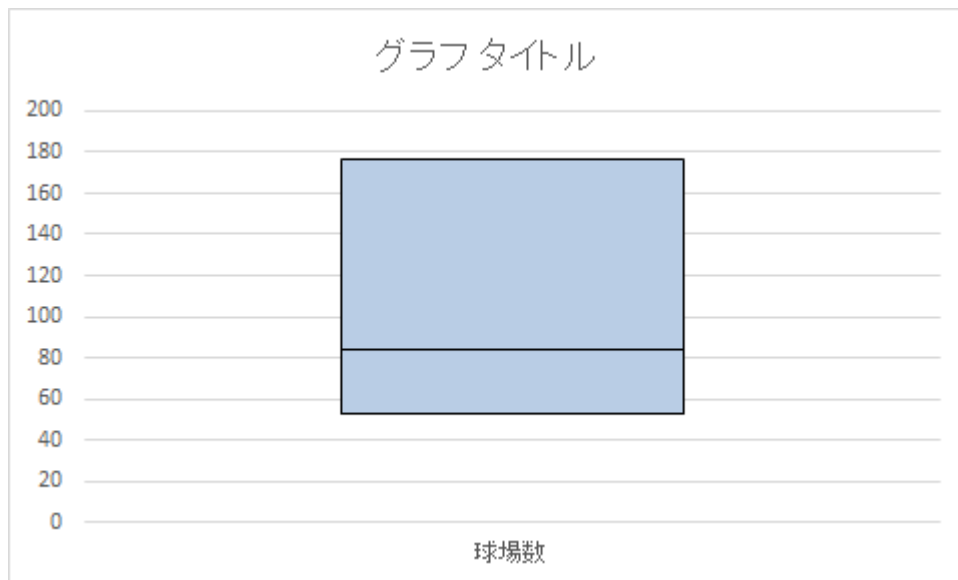
- ③ 「データの選択」ボタンを押すと、右図のようなウィンドウが開くので、「下へ移動」「上へ移動」ボタンを使い、項目の順序を右図のように入れ替える。同様に、軸ラベルは、B3セルを選択し、「球場数」とする。



- ④ 積み上げ棒グラフを箱ひげ図に変更するために、一番下の積み上げの部分をクリックして、「データ系列の書式設定」を選択し、「塗りつぶし」－「塗りつぶしなし」を選ぶ。



- ⑤ 箱の部分の上と下の部分を同じ形にするために、④と同様の方法で、塗りつぶしの色を選び、黒い枠線を描く。



- ⑥ 次に、ひげの部分を作っていく。箱の上部をクリックすると、右上に \boxplus ボタンが出てくるのでこれをクリックし、「誤差範囲」の右側の三角ボタンを選び、「その他のオプション」を選択する。方向を「正方向」とし、誤差範囲を「ユーザー設定」とし、H38を値として選択する。
- ⑦ 同様に、下側のひげを作るが、非表示にした見えない部分をクリックして、右上の \boxplus ボタンをクリックし、「誤差範囲」の右側の三角ボタンを選ぶ。「その他のオプション」を選択する。方向を「負方向」とし、誤差範囲を「ユーザー設定」とし、H42を値として選択する。

- ⑧ グラフタイトルを「球場数の箱ひげ図」として、完成である。

